

保護者との連携を大切にしたい 気になる子への保育のポイント

久留米市 子ども未来部 幼児教育研究所

子ども達とかかわる中で、一人一人の子どもを理解することは、子どもの状態に応じた保育を行うときにとても大切なことです。

子どもへのかかわりや保護者との連携について、幼児教育研究所の発達支援で大切にしているポイントをご紹介します。

園や子どもたちの実態に合わせて活用していただければ幸いです。

気になる子への保育のポイント

肯定的に理解する

自己肯定感を育てる

子どもまるごと

- ・発達段階
- ・好きなこと
- ・得意なこと
- ・苦手なこと
- ・家庭環境など

目に見える
姿・行動

行動の背景

- ・生まれ持った発達の特性
- ・今までの経験
- ・周りの環境(人・もの・こと)など

つまずきの支援を「子育ての支援」の一環としてとらえる

好きなものや
興味関心のあることを
いかす



よいところ
がんばりを
みとめる

大人が支援をして、うまく
できた経験を重ねる

成功体験を
大切に

子どものとらえ方(例)

- 落ち着きがない → **好奇心旺盛**
- 頑固 → **意志が強い**
- 集団に入らない → **一人でいられる**
- 一斉指示が分からない → **個別に言う**と分かる

短い言葉で
肯定的に言葉を
かけると
伝わりやすくな
ります。

「どうしたらその子の
持ち味をいかせるか」
「どうしたらその子に
伝わるか」を考
えることが大切
です。

かかわり方(例)

手を洗わないとおやつが
食べられないよ。 → **手を洗ったらおやつが
食べられるよ。**
肯定的に

(時間になって) → (前もって)あと1つ
遊びは終わりです。 → **作ったら終わりです。**
前もって

ちゃんとかたづけようね。 → **箱に積み木を入れようね。**
具体的に

(座っていないときに) → (座っているときに)
座るよ。 → **座っていてえらいね。**
できている時に

保護者との連携のポイント

保護者の状況・思いを知る

思うように
いかない環境
の中で子育て



子どもの特性
からくる
育てにくさ

何とかしたいけど
どうしたらいい？ 「受容」と
言われても… がんばって
いるのに…

子どもには、自分の人生を楽しく過ごして
ほしい。(共通した親の願い)



具体的な言葉のかけ方(例)



座ってじっと待つのはまだ難しいですが、
絵本の読み聞かせは集中して聞くこと
ができましたよ。
(得意なことと苦手なことの共有)

前もって話をしたら、時間通り
に片付けることができました。
(うまくいった関わりの紹介)

鬼ごっここの時にタッチされても、
泣かずに交代できましたよ。
(子どもの成長した姿の共有)

保育の中でうまくいった関わり方や、子どもができたこと、がんばっていることなど
が話題の中心になると話しやすくなります。

日々の保育の中では、「子どもとどう関わるか」
という具体的な支援の方法が求められます。
その子に合う支援を考えるためには、
・育ってほしい姿を明確にもつこと
・子どもの行動の背景をとらえること、
など子ども理解の土台をしっかりとつことが大切
です。

幼児教育研究所では、
園への巡回相談や、療育等の
見学を行っています。

園での保育がよりよいもの
になるように、幼研にできることが
ありましたら、ご相談下さい。

保護者に寄り添い、対等な立場で連携

これまでの
保護者の
取組を認める



がんばっている
ことを伝える

子どもの強み
を話題にする 子どもに合う
方法を伝える その子のよさ
を伝える

保護者にも「成功体験」が必要。
(相談してよかったという経験)



久留米市子ども未来部 幼児教育研究所

〒830-0042 久留米市荘島町11-1(総合幼児センター2階)

電話 35-3812 FAX 35-3886(HPもあります)

メールアドレス yohken@city.kurume.fukuoka.jp

